



卒業アルバムより

## 11組担任 上原 孝先生の思い出



筆者：近影



卒業アルバムより

中山 正光

- 同級会には常に上原先生（以下先生）を含む20名以上参加します。大きな丸いテーブルを二つ用意して、奥に先生と女性陣と成績優秀者が座り、入り口には成績が芳しくなかった連中が座ります。先生と私共は10歳しか違わないので友人の様な付き合いです。
- 修学旅行の時、悪ガキが二階で枕投げで騒いでいたら、先生が二階に飛びこんで来て入り口にいた関係ない二人の生徒をひっぱたいたが、騒いだ連中にはお咎めは無かった。後の同級会で「謝れ!」と糾弾されましたが、先生は全く覚えていませんでした。
- 先生は大学受験の内申書の中々出してくれませんでした。仕方なく三流校での内申書を出して貰い封を切って中を見たら、全く誉めておらず、これでは落としてくれと言う様なモノだと思いました。成績を正直に書くので進学後「貸与奨学金」を貰えませんでした。
- 副担任は国語の戸田正明先生。皆が戸田先生を好きで誉めるので、上原先生は機嫌が悪くなる事が多々ありました。「授業内容が高度で面白いだけ」でしたが、「人格を比較している」と勘違いされたのですかね。
- 数年前、奥様を亡くされて随分落ち込んだが、最近は大分お元気になられたと。百歳まで長生きして欲しいです。